共にたたかった仲間
秋の立願寺に集う
現役を励まし、一夜を過す

「久しぶりだな」「五年ぶりバイ、お前も元気だったか」と、次つぎにやってくるかっての仲間たち。風呂に入るのも後まわしにして、早速近況を語り合い、お互いが元気で過ごしていることを喜び合う。

十月六日の夕刻、玉名の立願寺保養所で元の三川五分会――、といっても万田鉱から三川鉱へと長い歴史を経た丙方採炭の有志が計画した集いである。

午後六時すぎ、二十人全員がそろったところで呼びかけ人を代表して、長老の古庄さん（昭和四十六年定年退職、六十八歳）が、「ともに苦労した仲間がこうして集まった喜びでいっぱいです。三池闘争を頂点にしてたたかってきましたが、今日は現役で頑張っている人たちを励まし、楽しく語り合いましょう」とあいさつ。遠く広島から参加した出口さんや熊本からの荒木さんの労をねぎらった。

また、昭和四十年四月、本層三十六昇右一片払で命を奪われた清藤さん、昭和三十八年の三川鉱大災害で被災、四十九年一月に熊大病院で一度も意識を回復することなく亡くなった宮島さん、さらに病死した新村さん、水田さんら四人の冥福を祈って黙とうをささげた。

元三川五分会の分会長だった木下さんが経過報告をかねたあいさつを行ったあと乾杯――。ビール、酒、焼酎を和やかに汲み交わしながら話題は広がっていく。

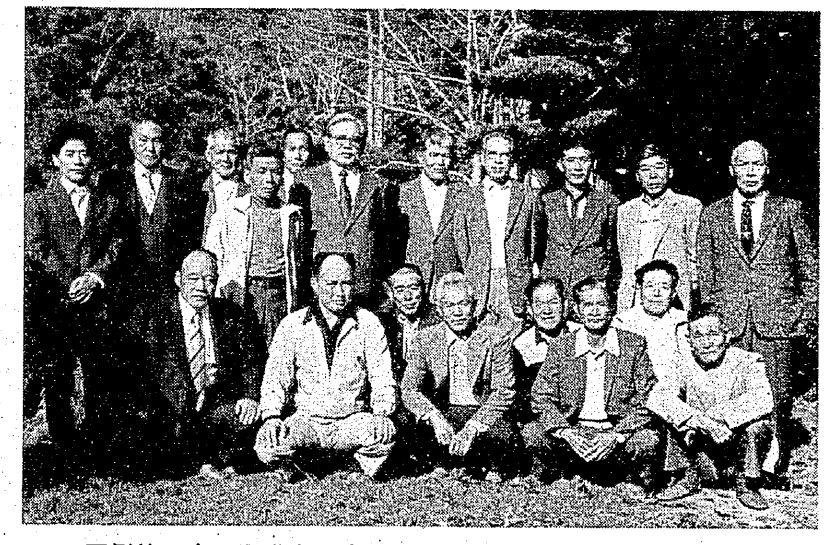
この部内では、現役で残っているのが、この日参加した岩田、堺、境の三人。みんなから励まされながら、坑内の現状などを説明する。やっぱり『炭掘る仲間』である。話題の中心は坑内のこと。そして地域でのこと、定年後の仕事のこと、今日参加できなかった仲間のことなど席を入れ替えながら熱を帯びていく。

やがて機をみて、木下さんのカラオケ『望郷酒場』で歌の交歓が始まり、そのあとしばらくはカラオケ、ナマオケがつづく。

「昔からこの部内はがま出し者で通ってきたが、災害防止、保安を守るためかいでもピカ一だった」という話も聞いた。

途中で古庄さんから、「三池三十年史がほしかった。なんとか出せないものか」という訴えがあり、さらに退職協のこと、三池労組発行のパイフレット『悲しみを怒りにかえて』の購読、『みいけ』の購読などが呼びかけられた。

翌日は快晴。朝食のあと庭で記念撮影。そして再会まで元気でと名残りを惜しんだ。



圧倒的に多い退職者の中で現役は3人、共に語り明かした。
一夜明けて秋晴れの中で記念撮影（10月7日）

三池炭鉱の歴史の中から
終戦と智恩社再建
その三 第十三回

十六分会 武松輝男

昭和二十年八月十五日、戦争が終わる。

いま振り返ってみて、あの時はほんとに、張りつめていた弦がすっかり緩んでしまったことを憶えている。そのさまはまるで人形劇の舞台で見るあやつり人形のような、操り糸をあやつる者がいなくなって、繰り糸がダラリとたれてしまって立つことも座ることもできなくなった。だらしがないというよりも、目の焦点がすわらない虚ろさだけが目立っていた。

そういう状態は、体の表に出てして、長老の古庄さん（昭和四十六年定年退職、六十八歳）が、「ともに苦労した仲間がこうして集まった喜びでいっぱいです。三池闘争を頂点にしてたたかってきましたが、今日は現役で頑張っている人たちを励まし、楽しく語り合いましょう」とあいさつ。遠く広島から参加した出口さんや熊本からの荒木さんの労をねぎらった。

また、昭和四十年四月、本層三十六昇右一片払で命を奪われた清藤さん、昭和三十八年の三川鉱大災害で被災、四十九年一月に熊大病院で一度も意識を回復することなく亡くなった宮島さん、さらに病死した新村さん、水田さんら四人の冥福を祈って黙とうをささげた。

元三川五分会の分会長だった木下さんが経過報告をかねたあいさつを行ったあと乾杯――。ビール、酒、焼酎を和やかに汲み交わしながら話題は広がっていく。

この部内では、現役で残っているのが、この日参加した岩田、堺、境の三人。みんなから励まされながら、坑内の現状などを説明する。やっぱり『炭掘る仲間』である。話題の中心は坑内のこと。そして地域でのこと、定年後の仕事のこと、今日参加できなかった仲間のことなど席を入れ替えながら熱を帯びていく。

やがて機をみて、木下さんのカラオケ『望郷酒場』で歌の交歓が始まり、そのあとしばらくはカラオケ、ナマオケがつづく。

「昔からこの部内はがま出し者で通ってきたが、災害防止、保安を守るためかいでもピカ一だった」という話も聞いた。

途中で古庄さんから、「三池三十年史がほしかった。なんとか出せないものか」という訴えがあり、さらに退職協のこと、三池労組発行のパイフレット『悲しみを怒りにかえて』の購読、『みいけ』の購読などが呼びかけられた。

翌日は快晴。朝食のあと庭で記念撮影。そして再会まで元気でと名残りを惜しんだ。

昭和二十年八月十五日、戦争が終わる。

いま振り返ってみて、あの時はほんとに、張りつめていた弦がすっかり緩んでしまったことを憶えている。そのさまはまるで人形劇の舞台で見るあやつり人形のような、操り糸をあやつる者がいなくなって、繰り糸がダラリとたれてしまって立つことも座ることもできなくなった。だらしがないというよりも、目の焦点がすわらない虚ろさだけが目立っていた。

そういう状態は、体の表に出てくるというものばかりではない。人々の目にふれない体の芯まで、中空になってしまって、考えることだけでなく、衝撃に反応することですらできなくなったものだ。

しかし、そのような思惟や反応が欠落するのもやむをえない仕儀であったろう。なにしろそれまでは、上意下達を支えに生活していたのだから。その上意下達が間違いというのだからどうしようもない。ちょうど雄姿を誇った山をみて、その山の恵みで村が潤っている、それも山のおかげだといって畏敬の念をいだいていたが、その畏敬をいだいた山の姿は実際に恵みを与えてくれる実存の山ではなくて、山麓によこたわる湖に映った山の倒影でしかなかったことと同じである。

戦時中は、大本営が発表する戦果の倒影に小躍りしていたものだ。戦争が終わってみてはじめてわかったことだが、戦果というのが戦争を遂行するための虚勢であって、上意下達を潤滑にする影であったということである。

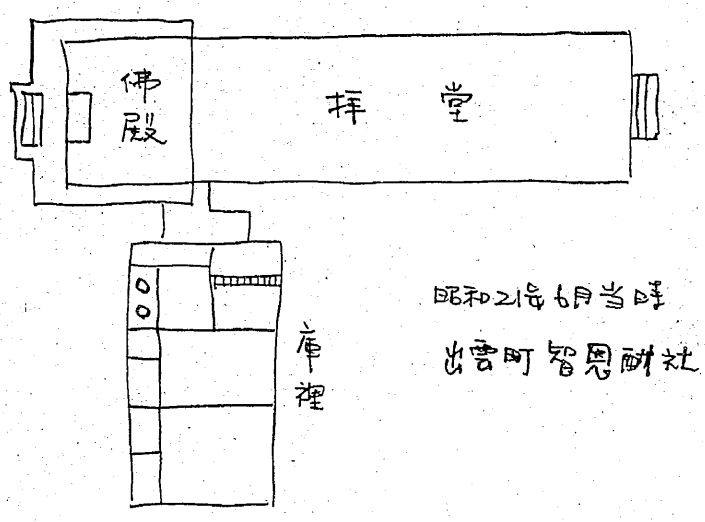
影というのは、予想した以上に大きな力を持つこともある。戦国時代の影武者の例をとるまでもないが、影のおかげで状況が一変することもあったと聞いたことがある。別な言い方をすれば、ある物を生かすも殺すも影次第、と言えないこともない場合もある。油絵の風景画や静物画を見ていても影のない画は立体感にとぼしく平板的になる。影があるから山は山であり、壷は壷である。

人間だって同じことだ。影だけが強調されると、アウトローになって、それだけで相手を威圧してしまう。影もそれほど強調しないで人々の顔にあてはめると、西洋的なとか、東洋的なとかいう、そういう顔をつくり出していく。

その影も三池炭鉱の労務政策にあてはめてみると、近代的、科学的な労務政策を立体的にし、その運用の潤滑さをもたらしているのが智恩社の教義であり、思想であるといえるだろう。

生まれ変わり生き変わる仏教教義の三世の因果や輪廻が影になって安定している。だから、死亡、大きな地獄極楽という生来日負傷がきわだって多くて、労働者本人がもっている心とからみあって生死の不安をもたせながらも、なおその効果を浮き出させている。それが智恩社の教義であり、思想であったと言えるのではないだろうか。

三池炭鉱は、戦後の混乱期に、この智恩社の再建もこころみている。しかもその智恩社も労務政策の影ではなくて、表の体面になるものにしようとしている。原山町に建立される智恩酬社（八十坪）がそうであり、出雲町の智恩酬社（六十一坪）がそうである。この智恩酬社で、明治以来、営々として築いてきた報恩愛社と献身を、再び築きあげ、労働者宣撫の効果の復権をこころみたのである。影が表に出たら平板になって、本来の労務政策が混乱することを忘れてまで。（カットも筆者）



9カ国中8位、日本の労働者の購買力
同じ食料を得るために
西独の2倍、米国の4倍働く

国際金属労働者協会連合が十月六日発表した各国の工場労働者賃金と生計費を比較した統計報告によると、肉一キロ、牛乳一リットル、パン五百グラム、それに魚、バター、ジャガイモ、砂糖、オレンジを買うために、米国の労働者は一時間五十分働けばよいのにたいし、インドでは三十二時間三十八分働かなければなりません。

この報告は世界九カ国について比較をおこなったものですが、日本の労働者は同様の食糧品を買うためには、七時間五十三分も働かねばならず、九カ国中第八位にランクされています。西独（三時間二十分）、英国（三時間四十一分）、スイス（四時間七分）に比べても、日本の労働者はかなり苦しい生活を強いられているようです。

賃金は三位ですが、問題は生計費が高いことにあります。

風風順逆 挑戦状

だれだかわからないが、グリコ犯人「かい人21面相」に似た挑戦状がまい込んできた。

◎

ひつこい さいばんかんさん
たち え
このなつは えろう あつかった な
おまえらの せいで わし むざいに なれへんかった
いつか かならず なったるで
あれこれ 手 まわしとるのに
なんで わしを ざいにんに してしもたんや そんなに
いじめんかて ええやんか
かぎみどり君 もとほうむだいじんと 相談してみたかね
あほは なんぼ がんばっても あほや
このまえの お前らの はんけつ あれ なんや 5億えんくらい もろたかて よっしゃ
なんて いわへんで
それくらいの かね やったらさよか で おしまいや
おなごバチの ひときしかあらへんのに なんで ゆうざいに するんや そうりだいじんに だれを すえるのか わしのいいなりや
そうせんきょ いつやるか かて わしの 胸さんずんや
かぎみどりのやつ あんまりかっこ つけるようやったらくびに したろか おもたけどやめたった
わりかし いうことききくからいびっても しょないさいばんかんの どあほどもがわしにさからいおって ゆーざいはんけつ だしよった なん億くれたったら いいんやべんごしも みんな どじばかりしよったら おまんまのくいあげに なるでこんどは うでききの わかいべんごしを そろえたでみぎかて ひだりかて かめへんこくみんのぜい金 むだづかいせえへんように はよ むざいに せえやかい人83将軍

ニュースの日
テープなどの新設 10～20%の物品税

今年度の税制「改正」で所得税・住民税減税とあわせて実施が決まった〝見返り増税〟の一環として大蔵省は、十月一日から録音・録画用磁気テープ、サーフボード、電気洗濯機（全自動以外のもの）などの十品目に一〇%から二〇%の物品税を新たにかける。当面、初年度は五%から一〇%の課税になる。多くのメーカーが物品税を小売価格に転嫁することを決めているため、商品価格の引き上げは必至。

物品税の新規課税は、一九八六年十月には録画済み磁気テープなどさらに八品目に対して行われる予定。

ニュース・アップ

アメリカの突撃ラッパで、GNP1%枠突破に突っ込む自衛隊。予算ふんだくり作戦。

× ×

週休二日制で働きバチ世代の〝休日神経症〟ふえる。休むこともできない高度成長後遺症。